

| | |
|----------|---------|
| 教科 図画工作科 | 学年 第4学年 |
|----------|---------|

| 題材名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 |
|------------------|----|-----------------------------|--|
| 絵の具のぼうけん、たのしさ発見！ | 2 | 知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。 | 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。 身の回りのものを工夫して使ったり、思いついたものなども試したりして、絵の具遊びをしている。 |
| | | 思 絵の具の新しい使い方を見つけよう。 | 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけたりしている。 |
| | | 学 思いがけない形や色をたのしもう。 | いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしている。 |
| つけて、のばして、生まれる形 | 2 | 知 いろいろな形の表し方を工夫しよう。 | 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっている。 握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。 |
| | | 思 粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。 | 粘土をつけたりのばしたりしてできた形などの感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしていきたいか考えている。 |
| | | 学 粘土の感触を味わいながら、つくることをたのしもう。 | 粘土の感触を味わいながら、進んでつくることをたのしもうとしている。 |
| 木々を見つめて | 4 | 知 色づくりや筆使いを工夫しよう。 | 身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。 絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。 |
| | | 思 木を見たり触ったりして、表したいことを考よう。 | 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。 |
| | | 学 木を描くことをたのしもう。 | 身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。 |
| つないで組んで、すてきな形 | 4 | 知 紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。 | 紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっている。 紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。 |
| | | 思 使ったり飾ったりするものを考えよう。 | 自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。 |
| | | 学 作品を使ったり飾ったりしてたのしもう。 | 紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾りをつくることをたのしもうとしている。 |
| つながれ、広がれ！ だんボール | 2 | 知 段ボールの切り方やつなぎ方を工夫しよう。 | 段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。 体全体を使って、切り方やつなぎ方を工夫し、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつくっている。 |
| | | 思 段ボールでどんなことができるか考えよう。 | 段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変化させたりしながら、どのように活動するかを考えている。 |
| | | 学 友達と力を合わせて活動しよう。 | 自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら活動をしようとしている。 |
| かみわざ！ 小物入れ | 4 | 知 箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。 | 色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたたりながら、形や色などの感じがわかっている。 はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。 |
| | | 思 使ってたのしい小物入れを考えよう。 | 自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくっていくかを考えている。 |
| | | 学 小物入れをたのしくつくる。 | 小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。 |
| へんてこ山の物語 | 6 | 知 描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。 | 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、表したい「へんてこ山」の形や色などの表し方を工夫している。 |
| | | 思 へんてこ山の形から、お話を考えよう。 | 「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。 |
| | | 学 へんてこ山を描くことをたのしもう。 | 「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。 |
| 布の形や固め方 | 1 | 知 布の形や固め方を工夫しよう。 | 布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。 布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。 |

| 題材名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 |
|----------------------------|----|------------------------------|---|
| どろどろカッチン | 4 | 思 布が固まった形から、表したいことを考えよう。 | 固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すかについて考えている。 |
| | | 学 液体粘土の感触を味わおう。 | 液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。 |
| 本から飛び出した物語 | 6 | 知 形や色を組み合わせて、つくり方を工夫しよう。 | お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。 表したい場面に合わせて、形や色、身近な材料の使い方やつくり方などを工夫している。 |
| | | 思 物語の場面が伝わるように考えよう。 | 物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えている。 |
| | | 学 お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。 | お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。 |
| わくわくネイチャーランド | 2 | 知 場所に合った活動を工夫しよう。 | 活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかっている。 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。 |
| | | 思 自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。 | 自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。 |
| | | 学 友達と協力してたのしく活動しよう。 | 身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動をしようとしている。 |
| 飛び出すハッピーカード | 4 | 知 飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 | 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。 |
| | | 思 贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 | 贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。 |
| | | 学 カードで気持ちを伝えることをたのしもう。 | つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。 |
| 何にかこうかな (形と色でショートチャレンジ) | 2 | 知 材料に合った描き方を工夫しよう。 | 画用紙以外のものに描くことを通して、材料の特徴や感じがわかっている。 材料に合った描画材料を使い、表したいことの描き方を工夫している。 |
| | | 思 材料の特徴から描きたいことを考えよう。 | 材料の特徴をもとに、自分のイメージを広げて表したいことを見つけ、どのように描くかについて考えている。 |
| | | 学 画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもう。 | 画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもうとしている。 |
| キラキラワールド | 2 | 知 材料を生かした組み合わせ方を工夫しよう。 | キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。 キラキラ光る材料の形や色、質感などを生かして、組み合わせや重なりなどを工夫している。 |
| | | 思 材料の特徴から表したいことを考えよう。 | キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考えている。 |
| | | 学 キラキラ紙を使って、絵にすることをたのしもう。 | キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。 |
| 学校もりあげマスコット | 2 | 知 マスコットの形や色を工夫しよう。 | マスコットを描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。 表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。 |
| | | 思 場所や物から、マスコットを考えよう。 | 学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。 |
| | | 学 マスコットをつくって飾ってたのしもう。 | 学校もりあげマスコットをつくり、学校内に飾ることをたのしもうとしている。 |
| 絵から聞こえる音 | 2 | 知 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しよう。 | 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっている。 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。 |
| | | 思 感じた音から、形や色で表すことを考えよう。 | 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。 |
| | | 学 互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。 | 互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。 |
| つくって、つかって、たのしんで | 4 | 知 板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。 | のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたたりして、形や色やその組み合わせの感じがわかっている。 のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。 |
| | | 思 使ってたのしいものを考えよう。 | 板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。 |
| | | 学 作品をつくってたのしもう。 | つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。 |
| | | 知 彫刻刀の使い方や槽ね、彫り方や刷り方を工夫しよう。 | 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。 |

| 題材名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 |
|------------|----|------------------|---|
| ほって表す不思議な花 | 6 | 知 | 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。 |
| | | 思 | 彫りのできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。 |
| | | 学 | 版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。 |
| トントンつないで | 4 | 知 | 角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。 のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。 |
| | | 思 | 動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように作るかについて考えている。 |
| | | 学 | 切ったり、つないだりすることをたのしもう。 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。 |
| ゆめいろらんぷ | 4 | 知 | ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。 材料の形や色の組み合わせを光を通して試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっている。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。 |
| | | 思 | 光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。 映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。 |
| | | 学 | ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。 |